

マーサメリー通信

January 2019 Vol.13

発行:マーサメリー 編集人 安武真佐子 URL masmary.com

後藤勇一郎「私季らいぶ@1111 #7」

『Alone』 2019年3月9日(土)



後藤勇一郎さんのソロ「私季らいぶ@1111」も3月9日で早くも7回目を迎えます。

今まではピアニストやギタリストをゲストに迎え、また、無伴奏ヴァイオリン・デュオやトリオでこそ伝えられるヴァイオリンの魅力を演奏されてきた後藤さん。今回は、なんと、たった一人、「Alone」での演奏です。

最初から最後まで後藤さんの腕一本のヴァイオリン・ソロをご期待ください。ライブに先立ち、インタビューもぜひお読みくださいね。

マーサメリー (MM) : 2019年第1弾の後藤さんのノベンバーイレブンスライブは、Alone! バイオリン一本での生演奏ですね!

後藤(G): はい! 私季らいぶのコンセプトでもあるいつでもどこでも気軽にというのが実践できるのも「Alone」というスタイルがあるからこそでして、既に鎌倉や福岡では実践済みですが、この「私季らいぶ@1111」を始めてからいつかは必ずと心に決めていた事です。四季折々を表現した自作の「私季繚乱」、季節を感じる耳馴染みの曲を斬新なアレンジに仕立てた「私季四景」という二つの無伴奏ヴァイオリン曲を中心に、普段はピアノとの共演で演奏する楽曲も自宅録音による自身のプレイによるものや、レコーディング時に盟友・小池ちとせさんに弾いてもらったマイナスイオンを駆使しつつ、またこの@1111でもご好評いただいている、アルバムに収録するサウンドプロデュースユニット「勇晋」による二つのリズムトラック曲を、CDと同じサウンドで再現します。という事からある意味共演者は、いつもここでお世話になっているPA担当のスタッフさんですね(笑)

MM: 赤坂でのライブも3年目を迎えました。御縁が続いており、嬉しいです! 後藤さんのNew Year's resolutionは何でしたか?

G: このご縁も懲りずに支えてくださるマーサさんのおかげ、改めて心から感謝です! 新年の抱負ですか...毎年同じ事を言っていますが「継続は力なり」というありきたりでありながら、実は一番難しい事だと思っている事です。去る者追わず、来るもの拒まずで出来る事は今ま

後藤勇一郎のヴァイオリンで

豊かな土曜日のランチタイムを。

予約 ¥3,000 (税別・飲食代別途) 学割あり

開場 12:00pm 開演 1:00pm(ワンステージ)

私季ランチ ¥1,300(税別)(季節のサラダ&メイン料理)

アラカルト・メニューあり 500円より

会場・Live Bistro 「November Eleventh 1111 Part2」

(東京都港区) <http://risingdragon.jp>

ご予約は info@masmary.com まで

で通り全てトライしますが、今年はその中で少し視野をコンパクトにしていこうと思う中で、定期開催となるこの「私季らいぶ@1111」と世田谷での私季らいぶに集中すべく、昨年シリーズを一旦終えた東京での私季コンサートは今年はお休みする予定ですが、それだとピアノとのデュオの機会がないので、そこはマーサさんにも支えていただきつつ何かの形で実現できればと願っているところです。

MM: 今年も聖歌シリーズ、続けて参りたいと思います。ライブが3月9日ということもあり、心の平和、魂の平和を願って選曲しました。聖歌はどのような印象がありますか？

G: 全国的に災害が続く中、昨年は大好きな北海道にも起こり、また両親が東北出身である事から母が未だに心を痛めている姿を見ると、3/11に向けて何か自分ができる事はと考えた時に、まさにこれぞという選曲を有難うございます。これから無伴奏ヴァイオリンにアレンジしていく中で、心の平和を乱さない程度に斬新にアレンジしていこうと考えていますが、自身は縁がない聖歌ですので、信者の方に怒られてしまうようなある意味斬新なアレンジを施す事に抵抗がなく、シンプルで分かりやすい楽曲である事からアレンジしやすく様々なアイデアが生まれてきやすいのも事実です。ただあくまで原曲が一番なのは間違いなく、普段聴いている、あるいは歌っているこの聖歌が、インストゥルメンタルで違ったスタイルで表現するとこんな感じになるのかという、違った楽しみ方と捉えていただけると嬉しく思います。

MM: 後藤さんは映画音楽もレパートリーに取り入れていらっしゃいますが、最近ご覧になられた映画で感銘を受けた作品はありますか？

G: 映画はとっても大好きなのですが、基本はストレス解消の手段として観るケースが多く、となると分かりやすく現実離れした映画ならではの表現、例えばスターウォーズや007等のどんぱち系が好きなので(笑) 感銘を受けたとなるとなかなか...ここでも過去に演奏しているゴッドファーザーやニューシネマパラダイス、そして意外と印象に残っているのが「Once Upon a Time in America」、これは確か高校生の時に観たので印象に残っていますが、感銘を受けたという表現に当てはまる映画ではないかもしれません。やはりハリウッド製作の映画は、BGMでありながら質の高い音楽が流れるので、楽曲の印象深い映画が必然と記憶に残ります。

MM: The Plattersの「煙が目にしみる」は、前回は演奏され印象に残りました。1950年代のアメリカのロックミュージックもよく聴かれていたのでしょうか。

G: いやあ、さすがにそこまでは把握できていません。プレスリーとかチャックベリーのように何か

と音や映像で取り上げられたり、映画の挿入歌でリバイバル的に使われているものは知っている程度です。

MM: 演奏家として、アレンジャーとして日々活動されていらっしゃると思いますが、ご自身のエネルギーチャージ方法はどのようにされているのでしょうか。いつもエネルギー溢れ、その秘訣を教えてください！

G: エネルギーチャージとまではいきませんが、昨年は、ストレスとなる自身の物差しでは計れない出来事が度々起こり、眠れない日々が続いたため、その際に心をリセットする手段になった事でも。

就寝の際に、大好きな海外ドラマを視聴しながら眠りにつくのが一つの趣味で(笑) 横向きに寝て、iPadと横向きに固定して縦に置いて目線に合わせ、AirPodsを片耳に刺して観ながら寝ると、ものの15分で寝れる事がわかり、眠れないなど感じた時はこの方法で横になります(笑)

今年はより一層エネルギー溢れる演奏をお届けできるように、しっかり睡眠をとりたいと思っています！

MM: 皆様にメッセージを！

G: 今年もノヴェンバーイレブンス、そしてマーサメリーさんのおかげで各季節合計4回の私季らいぶを開催させていただく事になりました。季節を感じる美味しい私季ランチと、季節をテーマにした楽曲や耳馴染みの曲、そしてオリジナル曲とバラエティに富んだメニューの数々、そして今年は特にヴァイオリンの音色にこだわり、6月には無伴奏ヴァイオリンカルテット

「QUARTVIO (クアルトヴィーオ)」での演奏も控えています。まずは自身の全てをさらけ出す事ができる今回の一人ライブで、クラシックからポップまでジャンルを問わず、出来る事を精一杯披露いたしますので、是非是非皆様に足をお運び頂ける事を心から願っております。

音楽は時に人に力を与え、心を弾ませ、時に癒すパワーを持っています。そんな豊かな時間を作りたくて、November Eleventhで企画・ブッキングのお手伝いをさせて頂いています。November Eleventhは音楽への愛情がいっぱい込められたLive Bistroです。

オーナーはミュージシャン・作曲家の宇崎竜童、作詞家の阿木燿子夫妻。1996年より様々なジャンルのライブを行っており、オーナー試食のもと旬の食材を使ったメニューやライブイメージの特別料理、ソムリエ厳選のワインもご用意しております。ランチタイムはドリンクのみでもお越しいただけますので、お気軽にどうぞ。感謝を込めて。

(有)マーサメリー Masako Yasutake

Special Thanks to アイタック税理士法人